

KN グローカルリサーチレポート

2019年2月
No.34



2月は受験のシーズン。上旬から私立高校と私立大学の入試が始まり、下旬には国公立大学の入試があり、公立高校の願書の受付が始まります。

受験生の皆さんのご健闘をお祈りします。頑張ってください。風邪をひかないように、ご家族みんなで体調管理をしましょう。

【インフルエンザ・警報レベル】

浜松市内のインフルエンザ患者報告数が警報レベル(30)を大きく超え、近年では最高の 72.00 (定点観測する一医療機関当たりの患者数) となっています。報道によると、今年は A 型が多いようです。

「手洗い」「マスク」「人混みを避け」でインフルエンザへの予防を。

■表1 浜松市における定点あたりの患者報告数(最高値)

シーズン	報告数 (最高値)	報告週
2018/19	72.00	2019年第3週(1月14日～1月20日)
2017/18	45.39	2018年第3週(1月15日～1月21日)
2016/17	35.54	2017年第4週(1月23日～1月29日)
2015/16	36.14	2016年第8週(2月22日～2月28日)
2014/15	49.54	2015年第4週(1月19日～1月25日)
2013/14	21.50	2014年第5週(1月27日～2月2日)

浜松市生活衛生課(2019年1月24日現在)



浜松市 インフルエンザ情報



浜松市 学級閉鎖情報

区の再編に関する住民投票

②再編の必要性と効果

【必要性】

浜松市によると、行政区再編の必要性として、

●①人口減少と超高齢化

(2045年には、総人口が約13万人、生産年齢人口が約3割減少し、5人に2人が高齢者になると予測)

●②社会保障費の増大 (2025年には、後期高齢者に係る事業費が約45%、介護保険に係る事業費が約36%増加すると予測)

●③インフラの老朽化 (今後50年間で、改修・更新経費が1兆9,789億円、1年当たり396億円必要と予測) を挙げている。

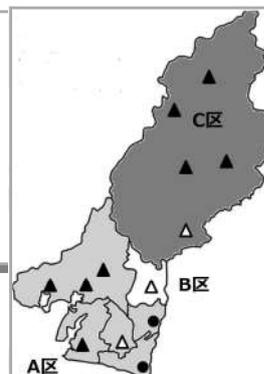
「人口減少と超高齢化」により、浜松地域の生産年齢人口が減少し、税収の減少が予測される。一方で、「社会保障費の増大」は、それが毎年の固定費となり、市の財政を圧迫する。また、高度経済成長期に整備された公共インフラは既に更新期を迎えており、「インフラの老朽化」対策として、毎年、道路や上下水道、公共施設の維持更新の為に財源が求められる。

このような背景から、『行政組織(区役所などのサービス拠点と人材配置)を総合的に見直すことで、持続可能性と身近なサービスの両立に向けた新たな自治モデルを創造します。』としている。つまり、各拠点に市の職員を集中配置し、人件費や運営固定費の削減で無駄の無いスリムな行政を目指すと考えられる。

■表2 区割り案

	3区案	人口	面積
A区	中区+東区+南区+西区+北区	671,788人	548Km ²
B区	浜北区	95,900人	67Km ²
C区	天竜区	30,292人	944Km ²

浜松市の資料より



【効果】

浜松市によると、7区から3区へ再編の効果は、行政事務の集約と一元化により、例えば、福祉や保健などの市民サービスが向上するとしている。そして、適正な職員数となった時点での削減効果額は年間7億円としている。

【説明会】

市では既に、①区再編の意義・目的、②3区案、③住民投票についての『区の再編に関する住民投票説明会』を、各区協議会委員や各自治会連合会長に実施しており、今後、3月には市内5カ所で一般市民を対象に「市民説明会」を実施する。



住民説明会の予定

浜松市防災学習センター 中区山下町192

昨年末、浜松市防災学習センターが旧北小学校跡地に開館した。市民自らが「考え、備え、行動する」を基本理念に、防災に関する知識の普及と啓発の拠点施設として、多くの市民に防災の学習や体験の場を提供する事を目的としている。



入口にある「デジタルはまマップ」では、約5分の映像で、浜松の地質や地形の説明と、天竜川の氾濫や100~150年サイクルで起きる地震などの地域災害の歴史の解説があり、さらに、今後予想されている南海トラフ地震発生時の震度予想や津波予想などを視覚的に学べ、「我が家はどうなるのか」と改めて考えさせられる。

住宅内を再現したコーナーでは、転倒防止装置や防災グッズなどが展示され、普段からの防災対策の必要性を実感できる。

「もしもシミュレーター」では、災害発生時の対処方法をクイズ形式で習得できる。

是非、家族でお出掛け下さい。(開館時間9:30~17:00、休館日:月曜日、祝日(土・日を除く)、年末年始)



デジタルはまマップ



そなえミッション



もしもシミュレーター

執筆 = 西川公一郎 : 元浜松市議会議員、防災士
(公社)子どもの発達科学研究所 事務局長
浜松市中区 在住 ko-ichi@24kawa.org